

## 令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	2	教科書	高等学校改訂版標準現代文B(第一学習社)		
副教材等	標準現代文B学習課題ノート(第一学習社)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てます。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1学期 中間	自己を見つめる わたしはあなただっ たかもしれない	・文章を読み、新たな視点で自己を捉えます。 ・相手の立場や、自分と社会のつながりなどを想像してみることの重要性に目を向けます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
	小説を読む(一) 調律師のるみ子さん	・現代小説の読解の仕方を学びます。 ・主人公が負の経験を克服し世界と向き合っていく様子を時間の流れに沿って読み取ります。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	—	—	○
1学期 末	新しい発見 新しい地球観	・新しいものの見方や視点に気づくことの大切さを学びます。 ・オーサグラフ地図の特徴と、筆者の主張とがどのように関連しているのかを把握します。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
	詩を味わう そこにひとつの席が 他	・想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨きます。 ・現代詩の鑑賞の仕方を習得します。作品独自の表現などに注意して、内容を理解します。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	—	◎	—	○
2学期 中間	言葉と生活 情けは人の……	・自らの言語生活に目を向けます。 ・ことわざの誤用が生じる要因を読み取ります。筆者独特の表現に触れ、自らの言語感覚を磨きます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
	小説を読む(二) 相棒	・日常を舞台とした小説を読みます。 ・時間経過に伴い変化する登場人物の心理・行動を読み取ります。 ・題名の意味するところを考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
2学期 末	言語活動 創作の楽しみ・短歌と俳句	・近現代の代表的な作者の作品を鑑賞します。 ・具体的なテーマのもとで短歌・俳句を作ります。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	—	◎	—	○
	人間と文化 コミュニケーション の文化	・日本文化の特徴を理解します。 ・現代社会における日本人のコミュニケーションの問題を、自らの問題として考えます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
学年 末	小説を読む(三) こころ	・近代の代表的な長編小説を読みます。主人公の姿を通して、人間のありようについて考えます。 ・小テスト、ノート、プレゼンテーション、定期考査	○	◎	—	—	○
	実用の文章 注連縄一つつましく貧 しく清楚な形	・実用の文章のねらいや効果について理解します。 ・日本文化を説明した文章を読み、文章構成や論理展開、表現効果について考えます。 ・小テスト、ノート、レポート、定期考査	○	—	◎	—	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	課題プリント、レポート、定期考査	20
④ 読む能力	課題プリント、レポート、定期考査	20
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)		
副教材等	本質が見えてくる最新現代社会資料集新版(第一学習社)、現代社会ワークブック2022(愛媛県高教研地理歴史・公民部会公民部門)				

学習の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間について理解し、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用しながら学習内容の定着を図ります。 ・意欲・関心を持って取り組み、復習を怠らないようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	私たちの生きる社会	・現代社会における諸課題を通して、幸福、正義、公正などについて理解するとともに、現代社会について関心を高めます。 ・ノート整理、レポート、定期考査	◎	○	○	○
	第1章 現代に生きる青年	・青年期の意義を理解し、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら、自己形成の課題について考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	○	◎
1 学期 末	第2章 個人の尊重と法の支配	・日本国憲法と関連しながら、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等について考えます。 ・ノート整理、定期考査	○	○	—	◎
	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査	○	◎	○	○
	第4章 国際政治の動向と日本の役割	・国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解します。 ・ノート整理、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 末	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	・現代の経済社会の変容に触れながら、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	○	○	◎
	第6章 国際経済の動向と日本の役割	・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ・ノート整理、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	○
3 学期	第6章 国際経済の動向と日本の役割	・グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ・ノート整理、定期考査	○	◎	○	○
	第7章 現代に生きる倫理	・個人と社会の関係に着目し、社会を構成する個人の生き方の選択が社会全体の課題にどのように関連しているか考えます。 ・ノート整理、定期考査、パフォーマンステスト	○	◎	○	○
	ともに生きる社会をめざして	・持続可能な社会の形成に参画するという観点から、課題を探究する活動を通して、人間としての在り方生き方を考えます。 ・ノート整理、レポート、定期考査、ポートフォリオ評価	○	◎	○	—

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、ノート整理、ポートフォリオ評価	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査、レポート	20
③ 資料活用の技能	発表、定期考査、パフォーマンステスト	20
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	数 学	科目	数学A	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	2	教科書	新編 数学A 改訂版 (啓林館)		
副教材等	ネオパル数学A NEW (第一学習社)				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書と並行して、問題集「ネオパル」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力して下さい。</li> <li>・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出して下さい。</li> </ul>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある事柄が起こる場合の数を数える方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	-	○
	第2節 順列・組合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順列や組合せの意味について理解し、それらの総数を求める方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
1 学期 末	第3節 確率とその基本性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の意味を確認し、事象の確率を求める方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	第4節 独立な試行の確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の試行を行ったときの確率を求める方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	-
2 学期 中間	第5節 条件付き確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件付き確率についての理解を深めます。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	-
	第2章 整数の性質 第1節 約数と倍数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公約数、公倍数の求め方や、整数の性質について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	-	○
2 学期 末	第2節 ユークリッドの互除法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを活用する方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
	第3節 整数の性質の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数の性質を事象の考察に活用する方法を学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎
	第3章 図形の性質 第1節 三角形の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形、四角形に関する基本的な性質について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎
3 学期	第2節 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円に関する基本的な性質について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎
	第3節 作図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形や円の性質を用いた作図について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	-
	第4節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線や平面の位置関係や、多面体に関する基本的な性質について学習します。</li> <li>・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、ノート	20
② 数学的な見方や考え方	行動の観察、発表、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	小テスト、定期考査	10
④ 知識・理解	定期考査、課題プリント、ノート	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	3	教科書	改訂 新編化学基礎 (東京書籍)		
副教材等					

学習の目標	1 化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解します。 2 原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解します。 3 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察します。 4 実験観察、探究活動を通して学習内容を深め、科学的能力を高めます。
学習の方法	・家庭学習では、身近な物質と授業内容を関連付け理解を深めてください。 ・授業では、初めて学習する用語や項目が多くあるため、集中することが大切です。 ・実験・観察を通して知識の定着や技能の習熟を心掛けてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	序編 化学と人間生活 1編 物質の成り立ち 1章 物質の探究	・人間生活や社会の発展に果たしてきた化学の役割を学び、探究心をもって意欲的に学習に取り組もうとする態度を身に付けます。 ・協力しながら積極的に実験に臨む態度を養います。 ・物質の分離・成分元素の確認・物質の性質の観察など基本的な実験操作を習得します。 ・化学物質に関して、化学的知識を生かして適切に扱う方法を身に付けます。 ・実験レポート、授業ノート、定期考査	○	—	○	◎
	2章 物質の構成粒子	・物質の構成粒子としての原子の構造について理解・習得します。 ・原子の電子配置と価電子等の概念を基に、周期律と周期表の構成について、族や周期の意味を理解し、最外殻電子、価電子等の概念を判断・表現できる力を養います。 ・課題プリント、小テスト、授業ノート、定期考査、行動の観察	○	◎	○	○
1 学期 末	3章 物質の構成粒子	・イオンの生成について理解・習得します。 ・イオン結合、共有結合、金属結合、分子間力による結合とその性質を理解し、結合と結晶の性質との関連について基本的な知識を身に付けます。 ・課題プリント、小テスト、実験レポート、授業ノート、定期考査、行動の観察	○	○	○	◎
2 学期 中間	2編物質の変化 1章 物質と化学変化	・原子量・分子量等と物質の関係を説明でき、正しく表現できる力を養います。 ・化学反応式の書き方について理解・習得し、その係数と物質量、気体の体積等の関係について基本的な知識・理解を身に付けます。 ・課題プリント、小テスト、実験レポート、授業ノート、定期考査、発表、行動の観察	○	◎	○	○
	2 学期 末	2章 酸と塩基	・酸と塩基の定義や性質を基に、具体的な酸や塩基の価数や強弱について判断できる力を養います。 ・水素イオン濃度とpHの関係について理解・習得し、身の回りの具体的物質について考察する力を養います。 ・中和反応について理解するとともに、具体的反応とその量的な関係、生成する塩の性質、滴定曲線等の基本的理解を身に付けます。 ・課題プリント、小テスト、実験レポート、授業ノート、定期考査、行動の観察、観察・実験の観察	○	◎	○
3 学期	3章 酸化と還元	・酸化と還元反応の定義を理解するとともに、電子の授受と酸化数の変化の関係を説明でき、具体的に酸化剤・還元剤の反応について考察できる力を養います。 ・金属のイオン化傾向に関する実験を行い、結果を通して金属の反応性を説明できる力を養います。 ・酸化還元反応の利用としての電池を理解し、具体的な電池の構造や反応について基本的な知識を身に付けます。 ・課題プリント、小テスト、実験レポート、授業ノート、定期考査、行動の観察、観察・実験の観察	○	◎	○	○

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、授業ノート	20
② 思考・判断・表現	発表、定期考査	20
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験レポート	20
④ 知識・理解	実験レポート、課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動、球技・武道(選択)、陸上競技を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育みます。</li> <li>・体育理論では、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。</li> </ul>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。</li> <li>・行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> <li>・パフォーマンステスト、実技</li> </ul>	◎	○	○	
2 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。</li> <li>・行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> <li>・パフォーマンステスト、実技</li> </ul>	◎	○	○	
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。</li> <li>・小テスト、行動の観察</li> </ul>	◎	○	○	
3 学期	陸上競技(長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離を走るにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペースの配分をしたり、ペースの変化に対応したりするなど主体的に取り組むことができるようにします。</li> <li>・記録計測</li> </ul>	◎	○	○	
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。</li> <li>・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。</li> <li>・パフォーマンステスト、実技</li> </ul>	◎	○	○	
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。</li> <li>・小テスト、行動の観察</li> </ul>	◎	○	○	

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技、記録計測	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

## 令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	2年 商業科 I型	
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 (大修館)			
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)					

学習の目標	1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくありません。また、健康のとらえ方や健康のために望まれることも変化してきました。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	1 思春期と健康	・思春期の特徴を体と心の面から学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)				
	2 性意識と性行動の選択	・性意識に関する男女の特徴をふまえて異性を尊重する態度が必要であることを学習します。				
	3 結婚生活と健康	・健康な結婚生活を送るためには、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを学習します。	◎	○	○	
	4 妊娠出産と結婚	・受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について学習します。	◎	○	○	
	5 家族計画と人工妊娠中絶	・家族計画の意義や方法について理解し、お互いのコミュニケーションの意義やそれにもとづく妊娠、出産、人工妊娠中絶の意思決定ができるよう学習します。	○	◎	○	
	6 加齢と健康	・加齢にともなう心身の変化を形態面と機能面から学習します。	○	○	◎	
	7 高齢者のための取り組み	・高齢者の心身の健康を支援するために社会的対策が種々に行われていることを学習します。	◎	○	○	
	8 保険制度その活用	・保険制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすかを学習します。	○	◎	○	
2 学期	9 医療制度とその活用	・様々な医療機関の活動内容を理解し、その利用にあたり医療費が支払われる仕組みを学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	○	◎	○	
	10 医薬品と健康	・医薬品の正しい使い方を理解し、医薬品の有効性や安全性がどのように認められているかといった、医薬品にかかわる社会的な側面を総合的に知ることができるよう学習します。	○	○	◎	
	11 さまざまな保健活動と対策	・日本や世界においてどのような保健活動や対策が行われているかを学習します。	◎	○	○	
	Ⅲ 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	・大気汚染や汚染源と汚染物質、それによる健康被害について学習します。	◎	○	○	
	2 水質汚染と健康	・かつて甚大な被害をもたらした産業排水による水質汚濁の実態とその対策及び、こんにちの生活排水による水質汚濁の実態を学習します。	○	◎	○	
	3 健康被害防止と環境対策	・環境汚染を防ぐためにさまざまな社会政策や個人でできることを幅広く調べ、総合的な対策を考えようとする態度を身に付けます。	○	○	◎	
	4 環境衛生活動のしくみと働き	・ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みを理解した上でそれらの問題点や対策を学びます。	◎	○	○	
3 学期	5 食品衛生活動のしくみと働き	・生産や製造・加工の現場から保存・流通、販売における基準などの遵守、遵守状況における行政の監視を学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査、パフォーマンステスト、発表、行動の観察 (以下同様)	◎	○	○	
	6 食品と環境の保健と私たち	・私たち消費者が、安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について学習します。	○	◎	○	
	7 働くことと健康	・働くことは人生において大変重要な意味を持つ一方で、働くことが原因で健康を損なうことがあることを学習します。	○	○	◎	
	8 労働災害と健康	・労働災害・職業病とは何か、ということについて理解した上で、労働中の事故とその対策、職業病の原因とその対策について具体的に学びます。	◎	○	○	
	9 健康的な職業生活	・職場における健康増進活動として、様々な専門家によって健康づくり支援が行われるようになってきたことを学習します。	○	◎	○	

(備考) 定期考査は、学期末に行う。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識	定期考査、ノート、課題プリント、パフォーマンステスト	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、発表、定期考査、パフォーマンステスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、課題プリント	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	3	教科書	MY WAY English Communication II New Edition (三省堂)		
副教材等					

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。</li> <li>2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、適切な英文で表現できる理解力と表現力を習得します。</li> <li>3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。</li> <li>4 全商英語検定2級取得を目標とします。</li> </ol>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は、本文をノートに写し、教科書に出てくる新出単語の意味を調べてノートに書いておくことが前提になります。辞書を使いながら、できる限り本文を日本語に直してみましょう。授業中の言語活動に参加できるように、家での準備を自分の力で必ずやる習慣をつけましょう。</li> <li>・自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。</li> </ul>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Pictograms	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるピクトグラム、国や地域によって異なるピクトグラム、日本発祥のピクトグラムなどについて学びます。</li> <li>・SVC / SVO / SVO(O=if節) / SVC (C=過去分詞)の文を理解して使えるようにします。</li> <li>・興味のあるピクトグラムについて調べて発表します。</li> <li>・発表、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
1 学期 末	Lesson 2 A New Way to Clean Up the Ocean	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あるオランダ人の若者による海のプラスチックごみ回収のための取組や、その挑戦する姿勢について学びます。</li> <li>・SV0102(O2=節) / it seems that ~を理解して使えるようにします。</li> </ul>	○	○	◎	○
	Lesson 3 Cuba	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キューバの歴史が生み出した文化的な特徴や、平等と助け合いに重点を置いた社会制度について学びます。</li> <li>・形式主語・形式目的語のitを理解して使えるようにします。</li> <li>・発表、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 中間	Lesson 4 The World's Poorest President	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の「幸せ」についての考え方を学びます。</li> <li>・SVOC(C=動詞の原形、過去分詞) / SVO+(to)不定詞を理解して使えるようにします。</li> <li>・幸せを感じるのとはどのようなときかについて考えをまとめ、発表します。</li> <li>・発表、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 5 Eye Contact	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デフリンピックに参加したろう者女子サッカー選手からアイコンタクトの大切さを学びます。</li> <li>・関係代名詞 / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞・関係副詞の非制限用法を理解して使えるようにします。</li> <li>・ジェスチャーについて考え、意見交換をします。</li> <li>・発表、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
3 学期	Lesson 6 A Space Elevator	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙エレベーターの構造について学び、その実現可能性について考えます。</li> <li>現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了進行形 / 未来進行形を理解して使えるようにします。</li> <li>・行ってみたい天体について調べ、発表します。</li> <li>・発表、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○

- (備考) 1 1, 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加、出席状況、課題	30
② 外国語表現の能力	授業における発表内容、課題、定期考査	20
③ 外国語理解の能力	授業における質疑応答、定期考査、小テストの成績	20
④ 言語や文化についての知識・理解	定期考査、小テストの成績	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	家 庭	科 目	家庭総合	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	2	教科書	新家庭総合 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	1 人の一生と家族・家庭、福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。 2 家庭や地域の生活課題を主体的に解決する力を習得します。 3 生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養います。
学習の方法	・自立するために必要な実践力が身に付くよう学習してください。 ・実習中は技術の習得とともに、コミュニケーションをとって協力するよう心掛けてください。

学 期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	第1章 人の一生と青年期の課題の課題 をみつめよう 第2章 家族・家庭と社会について考え よう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期の課題を取り扱い、その中でアイデンティティを確立することの重要性を学習します。</li> <li>・ノート、定期考査、行動の観察</li> </ul>	○	◎	—	○
	第4章 高齢者の生活と福祉について考えよう 第5章 共生社会をつくろう  ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の特徴や生活、高齢社会の現状や課題について取り扱います。</li> <li>・家庭や地域における共生、協働、福祉が果たす役割について学習します。</li> <li>・自分の家庭生活上の課題を見つけ、解決のための方法を考え、計画を立てて実行し解決できるよう学習します。</li> <li>・ホームプロジェクト、発表</li> </ul>	○	○	○	◎
2 学 期 中 間	第8章 健康で快適な衣生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の民族服から、被服が果たす役割や、生活に与える影響について学習します。</li> <li>・ノート、定期考査、行動の観察</li> </ul>	○	○	○	◎
2 学 期 末	第8章 健康で快適な衣生活をつくろう 第10章 持続可能な社会をめざして行動しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常多く用いられる被服材料の特徴について取り扱い、用途や目的にあった被服材料の選択や、材料に合った被服管理ができるようにします。エプロンの製作をします。</li> <li>・生活と環境の関わりや持続可能な社会をめざして主体的に行動できる力を身に付けます。</li> <li>・ノート、定期考査、課題プリント、作品、実習、行動の観察</li> </ul>	○	○	◎	○
3 学 期	第6章 経済生活を設計しよう 第9章 安全で快適な住生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者としての権利と責任を理解し、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深めます。</li> <li>・快適で安全な室内環境にするためにはどのような工夫が必要かを学習し、自分の住生活を快適にする方法を考えます。</li> <li>・ノート、定期考査、課題プリント、実習、行動の観察</li> </ul>	○	○	○	◎

(備考) 1、2、3学期ともに期末に定期考査を行う。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、課題プリント、定期考査	20
③ 技能	作品、実習	30
④ 知識・理解	ノート、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。



## 令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	マーケティング	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	3	教科書	マーケティング 新訂版 (実教出版)		
副教材等	マーケティング 問題集 (実教出版)				

学習の目標	1 激しく変化する現代市場においてマーケティングの果たす役割と意義を理解し、マーケティングに関する体系的な知識と技術を習得する。 2 マーケティングに関連する職業への認識を深め、進路選択の幅を広げる中で、マーケティング活動を計画的、合理的に行う能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・全商商業経済検定1級合格を目指し、講義をもとに、問題を解きながら理解力を深めていきます。冬休みの課題等で、模擬問題を解いて実践力を身に付けていきます。 ・現代市場に目を向け、マーケティングに関心を持ち、他の商業科目との関連性を意識しながら学習を進めてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 現代市場とマーケティング	・現代市場の特徴や、マーケティングの概要と、生産・流通・消費の動向やマーケティングの発展、内容と手順について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	◎	-	○
	第2章 市場調査	・市場調査の意味・手順、実態調査の方法、市場調査の実習などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	◎	○	○
1 学期 末	第3章 消費者行動	・消費者行動と購買、購買意思決定過程、製品のライフサイクルと普及について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	◎	○	○
	第4章 販売計画	・販売計画と販売予測、立案・実施・統制について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	○	◎	○
2 学期 中間	第5章 製品計画	・製品計画の概要、製品ミックスと製品政策について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	◎	○	○
	第6章 仕入計画と商品管理	・仕入計画の意味・手順・内容、商品管理の意味、在庫管理、商品の物的管理などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	第7章 販売価格	・販売価格の意味・種類と構成・決定要因、価格戦略の意味や卸売価格政策、小売価格政策、新製品を発売する差異の価格政策などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	◎	○	○	○
	第8章 販売経路	・販売経路の設定、販売経路の強化(系列化・短縮化・効率化・多様化)や流通業者の立場と対応について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	◎	○	○
3 学期	第9章 販売促進	・販売促進の重要性、広告、販売員活動、ブランド、信用販売、その他の販売促進について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査	○	○	◎	○
	問題演習	・検定試験に合格するため、多くの問題に取り組んでいきます。 ・課題プリント、模擬問題、パフォーマンス評価	○	○	-	◎

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	課題プリント、ノート	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価	30
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、ノート、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス経済	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	2	教科書	ビジネス経済 (実教出版)		
副教材等	ビジネス経済問題集 (実教出版)				

学習の目標	1 現代経済において経済理論が果たす役割とそれを学ぶ意義を学習します。 2 ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得します。 3 経済の仕組みや概念について理解します。 4 経済に関する基礎的な理論を基に、経済事象を主体的に考える能力と態度を育みます。
学習の方法	・「ビジネス経済」は、家計・企業・政府の経済活動のかかわり合いや市場のあり方について学んでいきます。ビジネスの世界だけでなく、日々の生活においても大いに役立つので積極的に学習に取り組んでください。 ・全商商業経済検定2級取得を目指し、講義をもとに、問題を解きながら理解を深めます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Introduction 1～3	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な経済事象と世界経済のつながりの考察を通して、経済学を学ぶ意義を学習します。</li> <li>市場の発展の過程を理解させ、分業がビジネスの発展に果たす役割を考えます。</li> <li>発表、ノート</li> </ul>	○	◎	-	-
	第1章 市場と経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な財の存在を、生産や消費を通して学習します。</li> <li>現代の市場経済の特色について、色々な観点から考えます。</li> <li>発表、課題プリント、ノート、小テスト</li> </ul>	◎	○	○	○
1 学期 末	第2章 需要と供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>財と市場が対の関係であることを学習します。また、需要や供給の意味や知識を学習します。</li> <li>供給の変化、技術革新や原材料価格の変化、市場に参入している企業数の変化など事例を用いて学習します。</li> <li>発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
2 学期 中間	第3章 価格決定と市場の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場において、需要や供給の変化に対応するために価格が変化することを学習します。</li> <li>市場の役割と課題について例を用いて考えます。</li> <li>発表、課題プリント、ノート、小テスト</li> </ul>	◎	○	○	○
2 学期 末	第4章 経済成長と景気循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>GDP (国内総生産)、経済循環、物価と実質GDP、経済成長、景気変動とインフレーションについての知識を学習します。</li> <li>わが国の経済を成長させる方策について考えます。</li> <li>発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
3 学期	第5章 経済政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政と金融について知識を定着させます。</li> <li>地方財政について考え、意見を交わします。</li> <li>わが国の近年の金融政策について学びます。</li> <li>課題プリント、ノート、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定試験に合格するために、多くの問題に取り組んでいきます。</li> <li>課題プリント、小テスト、定期考査、パフォーマンス評価</li> </ul>	○	○	○	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合 (%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、ノート、課題、定期考査、パフォーマンス評価	30
③ 技能	小テスト、課題プリント	20
④ 知識・理解	定期考査、小テスト	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	財務会計 I	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	3	教科書	財務会計 I 新訂版 (東京法令出版)		
副教材等	全商 1 級会計 完全段階式標準検定簿記問題集 (東京法令出版)				

学習の目標	1 「簿記」の学習を基礎として、企業会計の役割や制度及び財務諸表の作成に関する基本的な知識を身に付け、財務諸表の必要性や役割について理解します。 2 財務諸表から得られる情報をビジネスの諸活動に活用する能力を身に付けます。
学習の方法	・財務諸表に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けますが、その学習内容は「簿記」よりもさらに高度になるため、教科書や問題集を活用し、常に予習と復習を行うことを心掛けてください。 ・問題演習については、間違えたところを何回も復習し、疑問点や不明な点は積極的に質問して確実に解けるようにしてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第Ⅰ編 財務会計の基礎	・企業会計の意味や目的、財務会計の機能や企業会計制度の意味などを学習し、企業会計制度に関する理解を深めます。また、企業会計の歴史を通して、会計基準の必要性と今日的な動向を学びます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	-	◎
1 学期 末	第Ⅱ編 貸借対照表	・資産・負債・純資産の意味と種類を明らかにしていきます。具体的には当座資産・棚卸資産・固定資産について、それぞれの意味と種類を明らかにし、負債と純資産が企業にとっての調達資金であることを学びます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査	○	○	-	◎
2 学期 中間	第Ⅲ編 損益計算書	・損益計算の意味を明らかにし、損益計算の基準や処理方法を修得します。また、販売形態や営業種目などの相違による収益認識基準を明らかにし、それぞれの基準による処理方法を考えます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査	○	○	◎	○
2 学期 末	第Ⅳ編 財務諸表活用の基礎	・報告式の貸借対照表と損益計算書の作成方法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	-	○
3 学期	第Ⅴ編 連結財務諸表	・連結財務諸表の意味と必要性を理解し、親会社と子会社の意味と連結の範囲を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	-	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、パフォーマンス評価、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、パフォーマンス評価、定期考査	30
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、ノート、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	原価計算	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	3	教科書	原価計算 新訂版 (東京法令出版)		
副教材等	全商1級原価計算 完全段階式標準検定簿記問題集 (東京法令出版)				

学習の目標	1 製造業における原価計算と工業簿記に関する知識と技術を習得し、理解を深めます。 2 原価の概念に対する理解を深め、原価から得られる情報を活用する能力と態度を育てます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容が「簿記」よりもさらに高度になるため、教科書を活用し予習と復習を丁寧に行ってください。</li> <li>・問題演習については、間違えたところを何回も復習して確実に解けるようにしてください。</li> <li>・授業の際には、教科書・問題集・ノート・電卓の準備を忘れないようにしてください。</li> <li>・不明な点は積極的に質問して、「原価計算」に対する理解を深めるように努めてください。</li> </ul>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第Ⅰ編 原価と原価計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価の概念、原価計算の目的、製造業における簿記の特色と仕組みを学習し、原価計算の概要について理解を深めます。</li> <li>・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	◎	-	-
	第Ⅱ編 原価の費目別計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料費、労務費及び経費の計算と記帳を学習し、原価の費目別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得します。</li> <li>・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	◎	○
1 学期 末	第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算、部門別個別原価計算、総合原価計算を学習し、原価の部門別計算と製品別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得します。</li> <li>・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎
2 学期 中間	第Ⅳ編 製品の完成・販売と決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の完成・販売と本社・工場間の取引の記帳方法及び製造業の決算を学習し、製品の完成・販売に関する会計処理と決算を行うための基礎的な技術を習得します。</li> <li>・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	◎	○
2 学期 末	第Ⅴ編 標準原価計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準原価計算の目的と手続、原価差異の原因分析及び損益計算書の作成を学習し、標準原価計算を行うための基礎的な知識と技術を習得します。</li> <li>・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	-	◎
3 学期	発展学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より発展的な学習として日商簿記検定2級「工業簿記」レベルの問題を学習し、検定の合格を目指します。</li> <li>・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動観察、課題プリント、ノート、問題集	10
② 思考・判断・表現	行動観察、パフォーマンステスト、課題プリント、小テスト、定期考査	20
③ 技能	小テスト、定期考査、検定試験	30
④ 知識・理解	小テスト、定期考査、検定試験	40

- (備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス情報	学年 学科 類型	2年 商業科 I型
単位数	3	教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)		
副教材等	全商情報処理検定模擬試験問題集 (実教出版)、全商ビジネス文書実務検定試験模擬問題集 (実教出版)				

学習の目標	<p>1 業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護の取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得します。</p> <p>2 ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得します。</p>
学習の方法	<p>・この科目では、「情報処理」で学習した知識・技術を基にして、情報通信ネットワークを理解し、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを活用する能力を養います。情報通信関連の用語を十分に理解し、パソコンによる実習に積極的に取り組んでください。</p> <p>・全商情報処理検定ビジネス情報部門や全商ビジネス文書実務検定の資格取得を目指して授業を行うため、問題演習を通してパソコン操作技能の向上に努めてください。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1学期 中間	第1章 ビジネスと情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代のビジネスの実例を通して、ビジネスにおけるICT活用の基本的な知識を習得し、この科目の目的やねらいについて学習します。</li> <li>行動の観察、小テスト、パフォーマンス評価</li> </ul>	○	-	◎	○
	第1章 ビジネスと情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク社会における新しいビジネス形態の進展やその課題について学びます。</li> <li>行動の観察、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	◎	○
1学期 末	第2章 情報通信ネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークの構築についての基礎的な知識から、構築に必要なネットワークの設定方法、サーバの管理やセキュリティ管理などの技術について学びます。</li> <li>行動の観察、小テスト、パフォーマンス評価</li> </ul>	○	-	○	◎
	第2章 情報通信ネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークを構築するために有線・無線LANの接続設定、ネットワークアドレスやホストアドレスの設定方法を身に付けます。</li> <li>行動の観察、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	-	○	◎
2学期 中間	第3章 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペレーションズリサーチについて関心を持ち、表計算ソフトウェアの機能を利用した分析実習を行い、その知識と技術を学習します。</li> <li>実習の状況、実技試験、パフォーマンス評価</li> </ul>	○	○	◎	○
	第3章 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトウェアを活用して、ビジネスに関する様々な情報を効率的に分析し、その結果を表現する方法を学びます。</li> <li>実習の状況、実技試験、パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
2学期 末	第3章 表計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務情報や販売情報の分析方法及び分析結果の活用に関する様々な基礎的な知識を身に付けます。</li> <li>実習の状況、実技試験、小テスト、パフォーマンス評価</li> </ul>	○	○	◎	○
	第4章 データベースソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースの活用について関心を持ち、ビジネスにおけるデータベースの活用方法について学びます。</li> <li>実習の状況、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
3学期	第4章 データベースソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースソフトウェアを活用してデータベースのテーブル、クエリ、フォーム、レポートを作成する知識と技術を身に付けます。</li> <li>行動の観察、小テスト</li> </ul>	○	◎	○	○
	第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報処理システムの開発や開発モデルを理解し、各手順の目的の開発の内容の説明ができるようにします。</li> <li>行動の観察、パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○
	第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェアを用いた開発の一連の工程を理解し、ソフトウェアの特色を生かした実習を行い、知識・技術を身に付けます。</li> <li>実習の状況、パフォーマンス評価、定期考査</li> </ul>	○	◎	○	○

- (備考) 1 定期考査は、1学期の期末、2学期の中間・期末、3学期の学年末に実施する。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、実習の状況、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査	20
③ 技能	実技試験、パフォーマンス評価、定期考査	30
④ 知識・理解	課題プリント、実技試験、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商 業	科目	ビジネス情報	学年 学科 類型	2年 情報ビジネス科 I 型
単位数	4	教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)		
副教材等	全商情報処理検定模擬試験問題集 (実教出版)、全商ビジネス文書実務検定試験模擬問題集 (実教出版)				

学習の目標	1 業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護の取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得します。 2 ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得します。
学習の方法	・この科目では、「情報処理」で学習した知識・技術を基にして、情報通信ネットワークを理解し、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを活用する能力を養います。情報通信関連の用語を十分に理解し、パソコンによる実習に積極的に取り組んでください。 ・全商情報処理検定ビジネス情報部門や全商ビジネス文書実務検定の資格取得を目指して授業を行うため、問題演習を通してパソコン操作技能の向上に努めてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 ビジネスと情報	・現代のビジネスの実例を通して、ビジネスにおけるICT活用の基本的な知識を習得し、この科目の目的やねらいについて学習します。 ・行動の観察、小テスト、パフォーマンス評価	○	-	◎	○
	第1章 ビジネスと情報	・ネットワーク社会における新しいビジネス形態の進展やその課題について学びます。 ・行動の観察、小テスト、定期考査	○	-	◎	○
1 学期 末	第2章 情報通信ネットワークの活用	・ネットワークの構築についての基礎的な知識から、構築に必要なネットワークの設定方法、サーバの管理やセキュリティ管理などの技術について学びます。 ・行動の観察、小テスト、パフォーマンス評価	○	-	○	◎
	第2章 情報通信ネットワークの活用	・ネットワークを構築するために有線・無線LANの接続設定、ネットワークアドレスやホストアドレスの設定方法を身に付けます。 ・行動の観察、小テスト、定期考査	○	-	○	◎
2 学期 中間	第3章 表計算ソフトウェアの活用	・オペレーションリサーチについて関心を持ち、表計算ソフトウェアの機能を利用した分析実習を行い、その知識と技術を学習します。 ・実習の状況、実技試験、パフォーマンス評価	○	○	◎	○
	第3章 表計算ソフトウェアの活用	・表計算ソフトウェアを活用して、ビジネスに関する様々な情報を効率的に分析し、その結果を表現する方法を学びます。 ・実習の状況、実技試験、パフォーマンス評価、定期考査	○	○	◎	○
2 学期 末	第3章 表計算ソフトウェアの活用	・財務情報や販売情報の分析方法及び分析結果の活用に関する様々な基礎的な知識を身に付けます。 ・実習の状況、実技試験、小テスト、パフォーマンス評価	○	○	◎	○
	第4章 データベースソフトウェアの活用	・データベースの活用について関心を持ち、ビジネスにおけるデータベースの活用方法について学びます。 ・実習の状況、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	第4章 データベースソフトウェアの活用	・データベースソフトウェアを活用してデータベースのテーブル、クエリ、フォーム、レポートを作成する知識と技術を身に付けます。 ・行動の観察、小テスト	○	◎	○	○
	第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発	・情報処理システムの開発や開発モデルを理解し、各手順の目的の開発の内容の説明ができるようにします。 ・行動の観察、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	○	○
	第5章 ソフトウェアを活用したシステム開発	・ソフトウェアを用いた開発の一連の工程を理解し、ソフトウェアの特色を生かした実習を行い、知識・技術を身に付けます。 ・実習の状況、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	○	○

(備考) 1 定期考査は、1学期の期末、2学期の中間・期末、3学期の学年末に実施する。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、実習の状況、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査	20
③ 技能	実技試験、パフォーマンス評価、定期考査	30
④ 知識・理解	課題プリント、実技試験、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

## 令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	プログラミング	学年 学科 類型	2年 情報ビジネス科 I型
単位数	4	教科書	最新プログラミング (実教出版)		
副教材等	全商情報処理検定 模擬試験問題集 プログラミング 1級(実教出版)				

学習の目標	1 コンピュータを使ったデータ処理のしくみについて理解します。 2 プログラミングに関する知識と技術を習得します。 3 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を養います。 4 社会の様々な活動で情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てます。
学習の方法	・Javaプログラミングの実習を通じて、コンピュータのしくみやセキュリティの要点などの基本的な知識を学びながら、プログラムを開発して大量のデータを処理する技能を養います。 ・課題や検定対策テストなどに取り組みながら、専門的な知識やプログラミング能力を身につけていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会の情報処理について学びながら、プログラミングの可能性を考えます。さらにJava言語の特徴を理解するとともに、データ処理に必要な一連のプログラミング手順を把握します。</li> <li>・実習効率、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
1 学期 末	2 プログラミングの基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Javaプログラミングの開発手法を身に付け、各種ファイルの役割を理解します。さらにJavaプログラムの基礎的・基本的な技法を身に付けるとともに、デバッグのこつやエラーを起こしにくい開発習慣を身に付けます。</li> <li>・実習効率、小テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	○	◎
2 学期 中間	3 プログラミング応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Javaプログラミングにおけるオブジェクト指向、メソッドの構成、配列処理、例外処理、ファイル操作などの概念とコーディングを学び、実用的なプログラムを開発できる能力を養成します。</li> <li>・実習態度、デバッグ効率、検定対策テスト、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
2 学期 末	4 Javaの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より応用的なJavaの機能ライブラリを取り込むことにより、ウィンドウ操作、文字列加工、画像操作、動画や音声などのマルチメディア操作を実習し、Javaプログラミングのさらなる可能性を考えます。</li> <li>・実習効率、定期考査</li> </ul>	○	○	◎	○
3 学期	5 ハードウェア・ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの利用にあたって必要な、ハードウェアとソフトウェアに関する知識を身に付けます。さらに情報社会に参画する上での望ましい態度について考察を深めます。</li> <li>・検定対策テスト、定期考査、実習作品、ノート</li> </ul>	○	○	○	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。  
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

### 評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、ノート	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、小テスト、定期考査	20
③ 技能	実習効率、小テスト、定期考査	30
④ 知識・理解	課題プリント、ノート、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。